

## ● 会社の概要 (2019年9月30日現在)

商号 株式会社ソフト99コーポレーション  
 設立 1954年10月28日  
 本社 大阪市中央区谷町二丁目6番5号  
 資本金 2,310,056,000円  
 従業員数 213名  
 事業内容 自動車用化学製品の製造及び販売

## ● 役員 (2019年9月30日現在)

代表取締役社長	田中秀明
常務取締役	辻平幸
取締役	奥埜佳秀
取締役	石居誠行
取締役	小西紀行
取締役(社外)※	上尾茂三
取締役(社外)	井原英慶
取締役(社外)※	藤井美保
常勤監査役	古居祐
監査役(社外)※	平井康博
監査役(社外)※	竹村聡明
監査役(社外)※	樋口秀

※上記5名の役員は、株式会社東京証券取引所に独立役員として届け出ております。

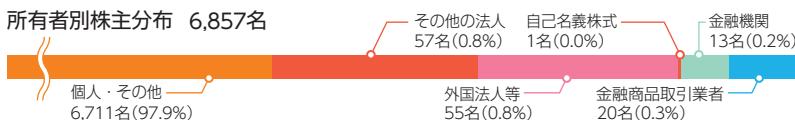
## ● 株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数	発行済株式総数	株主数(自己名義を含む)
60,000,000株	22,274,688株	6,857名

## ● 大株主 (2019年9月30日現在)

株主名	持株数	持株比率
サントレード株式会社	3,246,528 株	14.8 %
MIKIKO SUZUKI	1,492,656	6.8
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	1,458,300	6.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	978,000	4.5
株式会社エイチイーエス	835,000	3.8
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	832,200	3.8
株式会社三菱UFJ銀行	799,200	3.6
田中 秀明	661,976	3.0
公益財団法人ナインティナイン・アジア留学生奨学基金	603,720	2.8
田中 佐世子	594,192	2.7

※持株比率は、自己株式数(341,641株)を控除して計算しております。



## ● 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで		
期末配当金 受領株主確定日	3月31日	中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月	単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel. 0120-094-777 (通話料無料)		
公告方法	電子公告 ホームページ: <a href="https://www.soft99.co.jp/ir/koukoku.html">https://www.soft99.co.jp/ir/koukoku.html</a> 電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載いたします。 ※当社の貸借対照表、損益計算書はEDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)にて開示しております。		
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所市場第二部(証券コード: 4464)		

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



# 第66期 中間報告書

## COMPANY REPORT 2019

2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日

### 株主様向け三田工場見学会のご案内

株主様向けの工場見学会を下記の通り実施いたします。

#### 日時(各回10名様)

2020年3~5月の各月1回  
(所要時間約2時間)

#### 見学場所

三田工場(兵庫県三田市テクノパーク14-1)  
 \*工場までの交通費は各自のご負担とさせていただきます。  
 \*写真撮影はご遠慮ください。

#### 対象者

当社株式100株以上をご所有の株主様  
 \*同伴者は小学生以上の方1名までとさせていただきます。

#### 応募・お問合せ先

人事総務部  
 TEL 06-6942-8761



# 『生活文化創造企業』の 経営理念のもと、 更なる成長を目指します。



代表取締役社長 田中 秀明

## ●●● 当第2四半期連結累計期間業績についてのご報告

平素より当社グループの事業活動に格段のご理解、ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におきましては、国内では雇用・所得環境の改善が続く物価は緩やかに上昇する一方、消費税増税の影響に加え、世界経済における通商問題をめぐる緊張の継続、中国経済の動向や原油価格の上昇など、先行き不透明な状況が続いております。当社グループに

とりましても、国内自動車販売の好調継続や主要得意先である小売業界での消費税増税前の駆け込み需要などのプラス要因が発生した一方で、米中貿易摩擦に起因する半導体市場の冷え込み等の影響もあり、例年とは様相の異なる市場環境となりました。

このような中で、当社第5次中期経営計画「SHIFT DOWN!!!」最終年度となる当第2四半期連結累計期間においては、半導体関連の市況悪化に伴うポーラスマテリアル事業の販売減の影響が大きく、売上高は前年同期実績を下回る結果となりました。しかしファインケミカル事業及び

ポーラスマテリアル事業における原価率の改善などにより、営業利益においては前年同期実績及び当第2四半期連結累計期間の業績予想を上回る進捗となっております。

## ●●● 当第2四半期連結累計期間における 主な取り組みについてのご報告

ファインケミカル事業では、自動車向けケミカル製品の販売において、洗車の時短化をテーマとした新しい切り口の新製品「レインドロップ」や主力製品であるガラス撥水剤「ガラコ」シリーズの販売が順調に推移したことに加え、海外市場においては、欧州・南米等の近年開拓が進んだ仕向け地への出荷が増加しております。さらに、デジタル製品への取り組みのうちの一つであるタイヤ空気圧監視装置の販売においても、従来の販売の中心であったトラック・バス向け製品に加え、乗用車向け新製品の販売を開始いたしました。今後も自動車用・業務用・家庭用の様々な分野において、開発と販売の両面において新しい市場に向けた取り組みを継続し、変化する消費形態に対応した新しい製品・サービスの提供に注力してまいります。

ポーラスマテリアル事業では、産業資材部門において、新たな用途開拓と併せて半導体洗浄用途製品や吸水セームの需要拡大への対応を進めておりましたが、前期より続く米中貿易摩擦等に影響を受けた半導体市場の冷え込みの

影響により、半導体製造装置向け製品の出荷に回復が見られませんでした。一方で国内のコンシューマー向け製品販売においては自動車向け製品・家庭用製品共に需要は堅調であり、生活資材の販売については前年同期を上回る状況で推移いたしました。

## ●●● 通期の見通しについて

国内の環境は10月からの消費税増税の影響、また海外は通商問題の影響等により、先行きは不透明な状況となっております。

このような中、当社グループは引き続き業容拡大に向けた取り組みを進め、通期の連結業績予想につきましては、期首の公表と同じく、売上高25,000百万円、営業利益2,500百万円、経常利益2,620百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,820百万円といたします。

## ●●● 株主の皆さまへ

今後とも当社グループは「生活文化創造企業」の経営理念のもと、日々暮らしの中で役立つ新たな生活様式の創出を目指し、事業活動に努めてまいります。株主の皆さまにおかれましては、今後ともご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

# TOPICS

## ●レインドロップ 日刊自動車新聞 用品大賞2019 洗車・コーティング部門賞受賞

32nd 日刊自動車新聞  
用品大賞  
2019



2019年3月発売の新製品『レインドロップ』が「日刊自動車新聞 用品大賞2019 洗車・コーティング部門賞」を受賞いたしました。

『レインドロップ』は、自動車のボディとガラスを同時にコーティングできる新しいスタイルのカーケア製品です。ボディとガラスの両方に強密着する「吸着シールド」と、吸着シールドに強力に密着する「撥水シールド」「平滑シールド」の相乗効果で、瞬時に撥水&光沢被膜を形成する独自機能による施工時間の短縮と強力な撥水性能を同時に実現したことが評価されました。

当社はこれからも引き続きお客様に向けて新しい提案ができる製品の開発を進めてまいります。

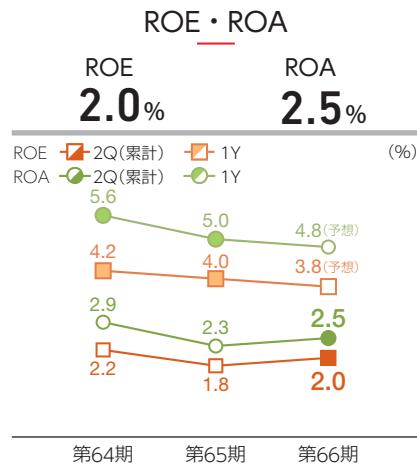
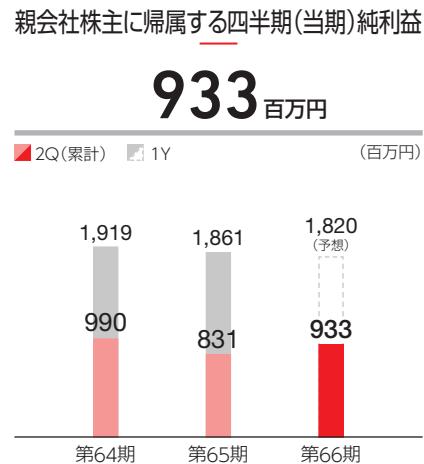
## ●ソフト99コーポレーション コーポレートサイトをリニューアル



この度、ソフト99コーポレーション コーポレートサイトをリニューアルいたしました。「商品・サービス」サイトと「企業IR採用」サイトを大きく2つに分けてサイト設計を一新、また掲載コンテンツを拡充させることで、すべてのお客様にとってよりご利用頂きやすいコーポレートサイトへと生まれ変わりました。

さらにアクセスの比率が年々増加しているスマートフォンを意識し、レスポンスウェブデザインを採用。大きく見せるデザインを多用することで、直感的な操作とデバイスを問わず様々な閲覧環境でサイトを快適にご覧頂けます。

ソフト99コーポレーション コーポレートサイトに訪れるすべてのお客様に、今後ともソフト99はコーポレートサイトを通じ、皆様により良い情報の提供に努めてまいります。(https://www.soft99.co.jp/)



解説

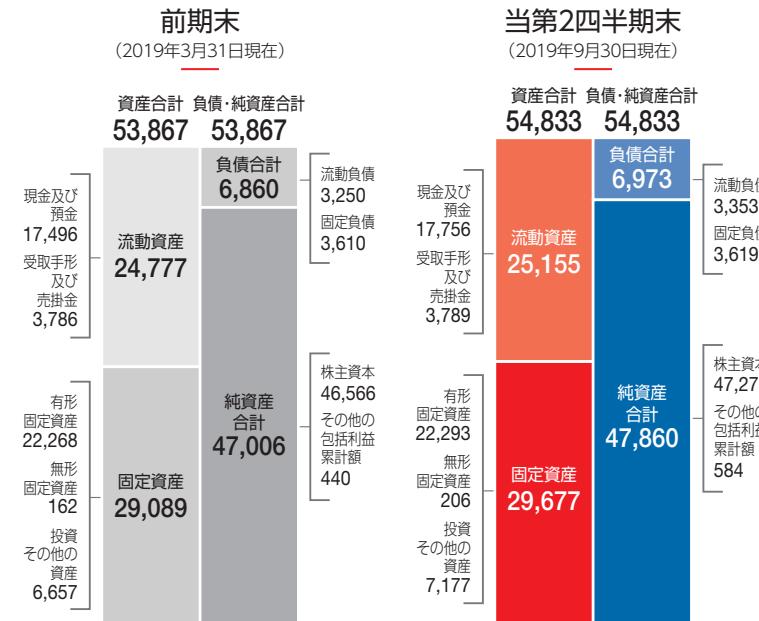
POINT① 売上高

第2四半期連結累計期間の売上高は、ファインケミカルセグメントにおいてボディの新製品やガラス撥水剤が順調に推移したものの、半導体市況低迷の影響によるポーラスマテリアルセグメントの減収をカバーできず全体でも減収となりました。

POINT② 営業利益

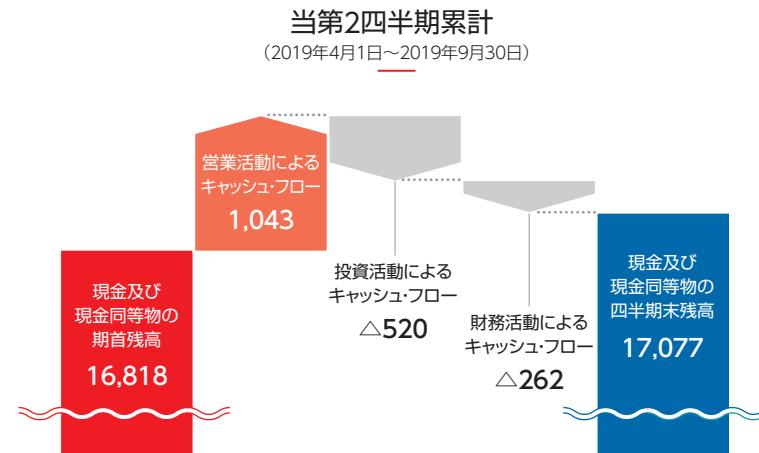
原価率の改善に加え、一部の設備投資計画や販売促進活動の実施が後ろ倒しになったことなどにより費用発生が当初想定を下回ったため、当第2四半期連結累計期間の営業利益については期首予想を上回る形となりましたが、通期の利益予想については期首発表の予想値を維持しております。

●● 四半期連結貸借対照表の概要 (百万円)



(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●● 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

解説

● 四半期連結貸借対照表

資産合計

現金及び預金が259百万円増加。たな卸資産が343百万円増加。有価証券及び投資有価証券の購入、足元の株式市場の好調などにより310百万円増加。

負債合計

未払法人税等が増加したことなどにより、113百万円の増加。

純資産合計

利益剰余金が670百万円、その他有価証券評価差額金が144百万円増加。

解説

● 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益	1,342百万円
減価償却費	381百万円
たな卸資産の増減額 (▲は増加)	▲346百万円
法人税等支払額	▲316百万円

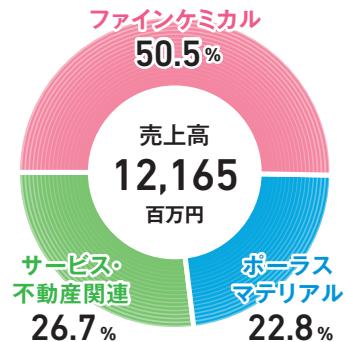
投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	▲368百万円
投資有価証券の取得による支出	▲403百万円
投資有価証券の売却及び償還による収入	300百万円

財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額	▲244百万円
長期借入金の返済による支出	▲36百万円
自己株式の処分による収入	39百万円

セグメント別概況



第5次中期経営計画

「SHIFT DOWN!!」

2017年4月～2020年3月



ビジョン

自動車産業のグローバル化・自動車ハイテク化時代の到来に向けて、新たな人とクルマの繋がりをつくる。

基本方針

新時代の自動車において安心・安全・快適を実現



ビジョン

表面改質と機能性精密多孔質体の技術を、幅広い産業分野における問題解決に活用する。

基本方針

新たな柱となる市場の開拓



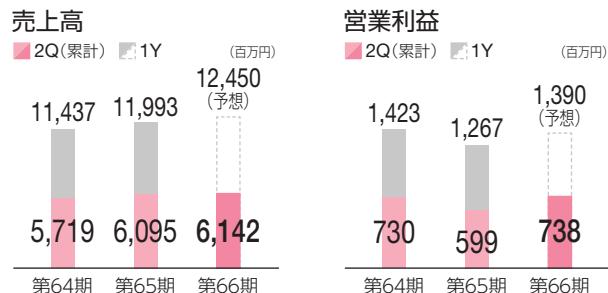
ビジョン

日々の暮らしの中で起こる小さな悩み・ストレスを解消し、より快適な生活環境をつくる。

基本方針

ニッチ市場での存在感確立

Fine Chemical  
ファインケミカル



● 売上高 6,142 百万円 >>> 前年同期比 0.8% 増  
● 営業利益 738 百万円 >>> 前年同期比 23.1% 増

一般消費者向け製品販売

- ボディケア製品は、この春に発売開始した洗車の時短化をテーマとした製品「レインドロップ」が、市場から高く評価され、販売が順調に推移。
- ガラスケア製品は、撥水剤「ガラコ」シリーズの販売が順調に推移したことに加え、「ガラコワイパー」の販売が回復し、「窓フクピカ」などのクリーナー製品の販売が順調。
- リペア製品は、天候不順により販売が減少。

業務用製品販売

- 業務用コーティング剤が、中古車販売店にて順調にリピート注文を受け売上に寄与。
- OEM製品販売は、在庫補充に留まったことにより販売量が減少。

海外向け販売

- 中国では、香港の情勢不安の影響を受け、販売量が減少。一方中国本土においては、積極的なプロモーションの結果、主力製品の販売が増加。
- 中国を除く東アジアでは、韓国での日本製品不買運動の影響を受けたものの、台湾やモンゴルでの販売が増加。
- ロシアでは、前期より販売を開始したガラスコーティング製品の出荷が順調。
- 欧州では化学品規制に対応した新処方ワックスの出荷が開始。また他製品群の販売も拡大。
- 近年現地マーケティングが順調であるブラジルへの出荷が好調に推移。

TPMS(タイヤ空気圧監視装置)企画・開発・販売

- 運送会社向け製品の販売が好調であり、乗用車向けTPMSの販売を開始。

電子機器・ソフトウェア開発販売

- 引合いや受注案件数は一定水準で推移しているものの、案件の複雑化により納入ペースが遅れ販売が減少。

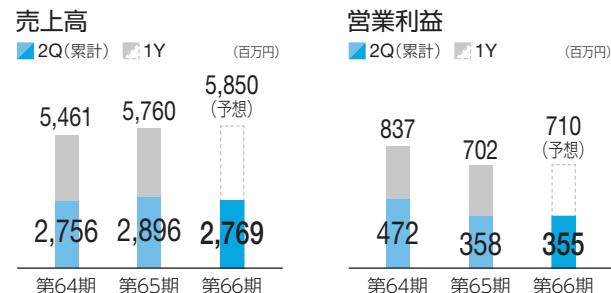
家庭用製品販売

- 主力のメガネケア製品は、詰替用の販売が堅調に推移。



▲メガネのシャンプー除菌EX つめかえ用 無香料

Porous Materials  
ポラスマテリアル



● 売上高 2,769 百万円 >>> 前年同期比 4.4% 減  
● 営業利益 355 百万円 >>> 前年同期比 0.7% 減

産業資材

- 半導体市場における減速感は第2四半期連結累計期間においても依然継続。
- 国内向け販売は、半導体製造装置メーカーへの洗浄用部材の落ち込みが回復せず減少。
- 海外向け販売は、海外の大手取引先での在庫調整が未解消。またHDD向け販売についても、研磨、洗浄共に減少。

生活資材(自動車分野・生活分野)

- 国内向け販売は、自動車用製品や、家庭用スポンジの需要が好調。また生産体制が整い供給が安定。
- 海外向け販売については、米国や、インドネシアにおいて現地での出荷調整が発生した影響により販売が減少。



▲自動車用製品

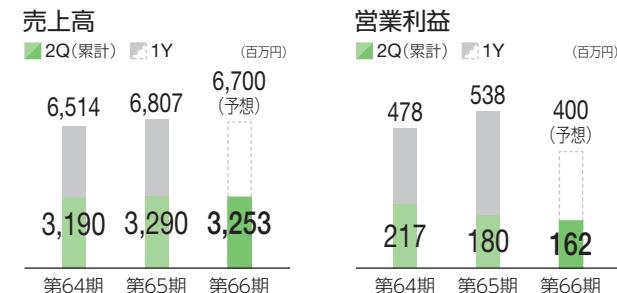


▲スポーツ用製品



▲スノウ超速乾スポンジタオル

Service / Real Estate  
サービス・不動産関連



● 売上高 3,253 百万円 >>> 前年同期比 1.1% 減  
● 営業利益 162 百万円 >>> 前年同期比 10.0% 減

自動車整備钣金事業

- 台風被害により在庫台数が増加した前期と比較し、在庫台数が減少。

自動車教習事業

- 自動車教習の入所者が堅調な推移にあわせ、指導員体制の強化を行ったことで適切な教習時限数を確保。
- さらに今期から社会的要請を受けて、対応を強化している高齢者講習も好調。

生活用品企画販売事業

- 主力の生協向け販売において、導入アイテム数を前期並みに維持できず減少。

不動産関連

- 不動産賃貸事業は、保有物件において安定した稼働率を維持。
- 温浴事業は、競合店の新規出店の影響により全体で売上減少。
- 介護予防支援事業は、前期に比べ稼働率が改善。



▲高齢者講習



▲名古屋支店社屋